

学校だより

自分も人も大切に

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



令和3年度 第7号
2021. 5. 14発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 新しい職員のお顔紹介 最終回 (パート4) ◆◆



立っている教員左から

教頭

教諭 (4-3)

教諭 (1-2)

教諭 (2-1)

中腰の教員左から

教諭 (3-3)

教諭 (4-2)

教諭 (音楽)

どうぞよろしくお願
いたします。

◆◆ プール授業が開始されました。 ◆◆



初めての試み、民間施設 (逗子スポーツクラブさん) を活用した水泳授業が始まりました。大型観光バス2台での移動は、6年生ということもあって、おおむね順調に行けたようです。新方式は無事こぎ出したのだと感じました。反省点で上がったことは町教委の職員とも共有しながら、工夫改善を図っていききたいと思います。

この先、低学年ともなると、泳げない・水が怖いといったレベルから始まる児童も多くいると思われます。一色小学校の低学年の情報等も参考にしながら、よりよい水泳授業になっていけばいいなと思っています。

なお、長柄小学校プールも水抜きを行いました。一応プールにたまった落ち葉等を撤去して、新しく水をためて、スプリンクラーや災害時のバックアップ水源として活用していきます。



◆◆ 5月12日(水)に5年生は田起こしを行いました。 ◆◆



指導して下さる さんは、「 さんのお父様が始めて以来40年以上続いている田んぼ指導が、次の世代まで続けばいいな」と思いを込めていただいている、長柄小学校にとってはとても大切な人材です。

昨年度はコロナの影響で、「田起こし」を児童は経験できず、教員と さんご一家で「田起こし」しましたが、今年度は児童が経験できました。「土に空気を入れて土が軟らかくなるように、5cm位の間隔で掘ってひっくり返す」作業に児童は夢中になって取り組みました。

「土をスコップで掘り起こすのは大変だったけれど、すごく楽しかったです。」「昔は広い田んぼもスコップでやっていて、とても大変だと思いました。」「田植えが楽しみ」といった感想が多数寄せられ、児童の期待感が高まっているのを感じました。

◆◆ 1年生が通常授業に入りました。・・・体を休めることも大切です。 ◆◆

給食で下校していた1年生ですが、10日(月)より、5時間目も実施する通常時間になりました。初めての5時間授業に、ややへろへろ状態の児童もいるとの報告を受けましたが、やがて体も慣れていくことと思っています。さあ、頑張ろう1年生!!

とはいえ、別途配付された「ほけんだより」にありますように、新年度がスタートして1ヶ月が過ぎ、体に疲れが出てくる児童もいるはずで、特に、まだ暑さに慣れていないのに、急に暑くなると、水分補給が足りなくなったり、熱中症への注意も必要となってきます。

お子様が疲れを感じているように見えたら、思い切って体を休ませてあげてくださるといいなと思っています。「また、新型コロナウイルス感染症にも、熱中症にもケアが必要な難しい時期が近づいてきたな」と、感じております。マスク着用をお願い等においても、より適切に対応していきたいと思っております。

◆◆ 1年生・2年生は鯉のぼりを作って飾りました。 ◆◆

2年生は、中庭に飾り、1年生は写真のように掲揚ポールに飾り、こどもの日を満喫しました。児童一人一人が、心身ともに健康に「自分も人も大切に」できる資質を身につけていってほしいなと心から願いながら、風にそよぐ鯉のぼりにその思いを伝えました。



◇◇ GIGA スクール構想 長柄小学校編パート9 ◇◇

緊急事態宣言、あるいはまん延防止等重点措置の効果はなかなか上がりません。学校も休みにしないと感染者が減らせない状況が訪れば、臨時休校の判断も出てくるかもしれません。できればそれまでに、リモート授業が実施できるように、長柄小学校の先生方の Chromebook を活用する力を付けていきたいものです。5月19日には全員参加の活用研修会を実施します。

びっくりするのは3~4歳程度の幼児は、スマホやタブレットを扱い、自分の見たい動画や、Facetime などのTV電話機能を駆使できたりします。その世代が入ってくる2~3年後の頃にはもっとハードルが下がっているようにも思えますが、今難しさを感じているのは、目の前にいる低学年児童への Chromebook の活用方法です。

キーボードを使ったローマ字入力ができないとなると、かなりのハンディとなります。加えて基本的な操作を覚えるのも、初めてなだけに時間がかかるはずで、結果的には使わない方が効果的な授業が展開できるので活用は進まなくなります。定期的・計画的に操作に慣れる時間が必要です。情報教育担当者は、朝の時間を有効に活用して習熟させていく方法を検討しています。少しでも技術を身につけていけば、やがて難なく使いこなせる児童に育つのは自明に感じています。併せて、研修後にはグーグルクラスルームやロイロノートを活用して教室を開設する教員も出てくると思っています。これらを反映して、児童に変化が見られてきたときには、又報告したいと思っています。

